

風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

福士敦朗新町長初登庁！

苫前町長選挙を無投票で当選を果たした福士敦朗町長が5月7日(火)初登庁した。

女性職員から花束を受け取り、職員の拍手に迎えられる登庁した後の訓示では、「いつまでも暮らしていただける苫前町を合言葉に、農業漁業の生産基盤を更に確立、高齢者・子育て対策を拡充し、町民の本音に耳を傾けた開かれた町政のもとで、夢と希望をもてるまちづくりをめざしていきたい」と述べた。

- 選挙特集「町長・町議会議員選挙」…2～3
- 苫前町農業協同組合第71回通常総会ほか…4
- 苫前商業高等学校の魅力化に向けた検討会実施ほか…5
- 小学生体験教室TDKほか…6
- 入園(所)式・入学式…7
- 苫前町財政事情説明書…8～9
- 健康ばんざい…10
- 地域包括ケアだより…11
- 後期高齢者ガイド…12
- 国民年金…13
- 学びの広場…14
- 住まいる情報…15～17
- 入学ギャラリー…18



まちの人口

人口/3,078人 (男/1,467人：女/1,611人)
世帯数/1,527世帯 (4月30日現在)

2019 統一地方選挙 苫前町長・町議ともに無風で終える

福士敦朗氏が初当選

今後4年間の大きな舵取りスタート
町議会議員は、現職6名、元職1名、新人1名が当選



福士敦朗 64歳 無新



4月22日、当選証書付与式にて、福士敦朗町長並びに町議会議員8名に野崎選挙管理委員長より当選証書が手渡された。

※現=現職、元=現職、新=新人、無=無所属。
なお、写真の番号は届出順。

議会構成が決まる (主要ポストのみ) ~5月8日臨時議会開催

| | | |
|---------------|-----|--------|
| ■ 議長 | | 阿部 俊一 |
| ■ 副議長 | | 田沢 収 |
| ■ 総務産業常任委員長 | | 磯崎 功 |
| ■ 議会運営委員長 | | 間宮 英明 |
| ■ 臨海地域特別委員会 | 委員長 | 伊藤 まち子 |
| ■ 医療対策特別委員会 | 委員長 | 村本 隆 |
| ■ 議会報発行特別委員会 | 委員長 | 西 大志 |
| ■ 監査委員 (議会選出) | | 西 大志 |



④村本 隆 65歳 無現



③阿部俊一 66歳 無現



②磯崎 功 70歳 無現



①早川日出利 63歳 無新



⑧田沢 収 62歳 無現



⑦西 大志 43歳 無元



⑥伊藤まち子 55歳 無現



⑤間宮英明 72歳 無現

当選証書付与式

町選挙管理委員会では、4月22日午後1時、役場大会議室において当選証書付与式を行い、野崎信輝委員長から福士敦朗町長と町議会議員8名に当選証書が手渡された。

野崎委員長は「多くの町民の信頼、期待を受けて当選された。苦前町発展のために活躍を願っています」と激励した。また福士敦朗新町長は「責任の重さに身の引き締まる思い。公約の実現に向けて、町職員とともに、町政発展と町民のために全力を尽くしていく覚悟だ」と抱負を述べた。続いて8名の議会議員を代表して間宮英明議員が「私たち議員としても、町民から負託されてこの立場に立っており、一つ一つ丁寧に、そしてわかりやすく説明をし、町民と共に一緒に頑張って頑張りたいと考えている」と挨拶した。



福士敦朗新町長が初登庁 いつまでも暮らしていける苦前を

5月7日(火)午前8時45分、福士敦朗町長が初登庁した。職員ら約60人が列をつくり福士町長を出迎え、女性職員から花束を手渡された福士町長は職員らの大きな拍手に包まれていた。



引き続き行われた職員訓示で福士町長は「3か月前までは議員として職員の皆さまにお世話になった。今度は町長として皆さんと一緒に頑張っていきたい」としたうえで、町政への意気込みや方針を次のように述べた。(要点のみ)

「『いつまでも暮らしていける苦前』を合言葉に農業漁業の生産基盤を確立して、高齢者・子育て対策の拡充、開かれた町政のもとで夢と希望のもてるまちづくりをめざす。

住民は、行政に対して継続と変革を期待している。生まれ育った土地で一生を終えたいと思えるまちにするには行政の施策が必要である。

4年前にこのふるさと苦前に戻ってきた。この苦前の土地で一生暮らしていけるよう職員皆さんの力を更に発揮していただきたい。

また、町民には常に明るく元気に挨拶や言葉掛けをして接していただきたい。このことは公約のなかで提唱している。また、役場組織の改編も行っていく考えだ。

令和という新たな時代がはじまった。人口減少が続き、限られた財源の中でより有効な施策を講じていかなければならない厳しい時代であるが、あまり深く考えずに夢と希望をもって前に進まなければならぬ。

最後に「町民の声をくみあげてコミュニケーションあふれるまちづくりを目指し、職員皆さんの力をお借りして全力で取り組んでいく」と意気込みを語られた。



「森利男町長」 退任いたしました。

ありがとうございました。

「町民が支えるまち」そして「暮らしを楽しめるまちづくり」であること、苦前町民が1つの家族のようなたたかひ苦前町を実現していくことを願っている。

安心度ナンバー1の苦前町、町民がわくわくする苦前町そしてひとが輝き躍動するまち苦前町をめざして頑張っています。

町職員(39年間)と町長時代(16年間)を通しての55年間、町職員の給与の減額等もし、皆と一緒に苦前はしましたが、多くの町民の皆様にも一緒に参加していただき、のびのびと悔いのない仕事をさせていただけました。

国や道を含め仕事等で関係をお願いした方々に深く敬意と感謝を申し上げますと共に、町職員はもとより議員各位並びに町民各位の益々のご健勝ご活躍をご祈念申し上げ退任の退任のご挨拶とします。



私は、去る4月末をもって町長の職を退任いたしました。

平成15年5月、町長になってからは、まず財政の立て直しを中心に町長との対話を基本とした「つなげる」町政への実現をめざし、誰もが住みやすい最高の苦前町づくりを目標に進めてきました。

具体的には、1次産業の農業・漁業については、年々充実発展しブランド化も視野に入れて儲かる農林水産業の実現、後継者や担い手不足も少しずつ確保されてきた。

いつかきつと帰りたいな

苫前町農業のあるべき姿実現に向けて～苫前町農業協同組合第71回通常総会～

4月15日(月)町公民館で第71回苫前町農業協同組合総会が開催された。

松原幸博代表理事組合長は「昨年は、日照不足、集中豪雨、胆振東部地震によるブラックアウトなど、本町農業でも多大な影響があった。国では農協改革を推し進めており、本丸の農協合併については現在合併協議会を立ち上げ検討している最中であるが、苫前町農業のあるべき姿の実現に向け頑張っていきたい」と述べた。

昨年は、販売総額が昨年に続き過去10年間で最高額の二十八億七千八百万となった。今年度の販売目標額は、二十九億円をかけたている。



山火事を未然に防ぐ～林野火災予消防対策協議会～

4月18日(木)役場大会議室で林野火災予消防対策協議会が町、留萌南部森林管理署、留萌振興局森林室、留萌中部森林組合の共催で約30名が参加し開催された。

当協議会の本部長でもある森町長は開会にあたり「林野火災のほとんどは4月から7月までで全体の9割になる。火災の原因は、主に人為的ミスによる火災やタバコ等の投げ捨てが多い。昨年は本町での火災は発生しなかったが、火災は人命・財産を脅かすことから事前の予防が大事、予防啓発にご協力願いたい」と挨拶した。

予消防対策期間となっている4月21日から7月31日までは広報車の運行や防災無線、ポスターの掲示など啓発を図る。



青空教室を実施～苫前小学校・古丹別小学校～

4月17日(水)古丹別小学校(石田正樹校長)では青空教室を実施した。

石田校長からは「今日は自転車のルールを学びます。これからは自転車を使うようになりませんが、絶対事故のないようくれぐれも交通安全を意識して運転してください」と話した。

終了後、羽幌警察署古丹別駐在所の伊藤俊也部長からは「とても上手に乗れていました。皆さんが交通ルールを守り、自転車運転を真剣に取り組んでいる姿に安心しました」と述べていた。



古丹別小学校

4月26日(水)苫前小学校(本間博樹校長)では青空教室を実施した。

交通安全協会の千葉國雄会長から委嘱状が交付され、6年生の佐藤優成くん和阿部隼也くんが交通安全宣言をした。

羽幌警察署苫前駐在所の江本孝幸所長からは「6年生には委嘱状が交付されました。下級生を見守り、自らが交通ルールの指導者として教えていただき、1年生～5年生は6年生の言うことをしっかりと聞いて交通ルールを守ってください」と述べていた。



苫前小学校

幼年消防クラブ消防士体験～古丹別保育所園児が放水体験～

4月24日(水)北留萌消防組合消防署古丹別支署(白府正志支署長)で古丹別保育所(川森のり子所長)の半日消防士体験が行われ、黄桃青組園児約30名が参加した。

3色の消防服に身を包んだ園児らは、消防車をバックに記念撮影をした後、的を目標けて放水体験を行った。最初はおっかなびっくりだった園児たちも次第に慣れ、放水用のノズルを握りしめていた。また、水消火器の体験も行われ、火に見立てたペットボトルを目標けて消火器を放水、3本のペットボトルがすべて倒れると「ヤッター」と声をあげる園児もいた。



苫前商業高等学校の魅力化に向けた検討会実施



この後、資料を元に4つの班に分け、テーマを絞ってそれぞれの考えを述べていた。学校側は「貴重な意見をいただいた。出来る事から実行していきたい」と話していた。

佐藤校長からは「定員数を下回る学校が増えていく。本校も今後一定数以上の生徒を確保出来なければ継続して行く事は難しい。充実した高校生活を送ってもらえるよう何が出来るか。今日からでも出来る事を進めていきたい」と挨拶した。

4月26日(金) 苫前商業高等学校(佐藤雅人校長)主催による「苫前商業高等学校の魅力化に向けた検討会」が同校で開催され、関係者約20名が意見交換をした。

こどもの読書週間まつり

本を楽しんだ後は、ゲームコーナーやクレープづくりに参加出来るコーナーがあり、読み聞かせの時に見える真剣な表情とは打って変わって、会場内が笑い声に包まれ、楽しい時間を過ごしているようだった。

はじめに読み聞かせを行い、大型絵本やだまし絵・ふしぎ絵・しかけ本などを子どもらは楽しんで読んでいた。

4月27日(土) 公民館主催による「こどもの読書週間まつり」が公民館図書室で開催され、親子ら約30名が参加した。



春の火災予防運動 ~防火パレード及び車両パレードを実施~

4月20日から30日までの春の火災予防運動期間中に、苫前・古丹別両地区にて防火パレード及び車両啓発が行われた。

22日(月)に、苫前市街地で消防車両4台及び危険物安全協会苫前地区会員6事業所が参加し火災予防を広報した。

23日(火)に、古丹別市街地で防火パレードを実施し、幼年消防クラブ、農協女性防火クラブ、農協女性部フレッシュミズ、シルバー防火クラブ、苫前町マスコットキャラクター「くまだとまお」が参加し啓蒙物品を配布しながら火の用心をPRした。その後、車両啓発パレードを行い消防車両4台及び危険物安全協会古丹別地区会員6事業所が参加し火災予防を広報した。



全国統一防火標語



忘れてない? サイフにスマホに火の確認



防火パレード (古丹別地区)



車両啓発パレード (苫前地区)

火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苫前支署 TEI 64-2321
古丹別支署 TEI 65-4119

小学生体験教室TDKがはじまる



5月6日(月・祝) 社会教育課主催事業の苦前町少年少女体験教室(略してTDK)の第1回目の事業(バードウォッチング)が開催された。

1回目ということもあり、まずは開校式を行い、小学生1年～6年までの22名が参加、それぞれ自己紹介を行った後2班に分かれ、緑ヶ丘公園まで移動、北海道海鳥センター(羽幌町)越宗葉保美さんによる小鳥観察が行われた。

参加者らは、アカゲラ、コゲラ、アオサギなどの鳥を見て「かわいい、あの鳥は何ていうの?」と問いかけをしながら楽しい時間を過ごしていた。

労働災害絶滅を誓う ～苦前建設協会安全大会～

5月8日(水) 公民館で苦前建設協会(奥山和彦会長)の第26回安全大会が開催され、同協会加盟事業所等の来賓を含め約100名が参加した。

奥山会長は「人命尊重、安全対策に全力を尽くす。建設業界は依然厳しい状況ではあるが、働き方改革、パワハラ防止など社会的責任も大きい。令和という新たな時代を迎え、労働災害・交通事故ゼロにむけ努力いただきたい」と挨拶した。

富士敦朗町長らの祝辞の後、「交通安全について」と題した羽幌警察署藤原真地域交通安全課長の講話により交通安全の徹底について改めて確認した。



たき火やタバコに注意 ～林野火災

5月になると森林の緑も、日毎に鮮やかさを増してきます。またこの時期は、林野火災が発生する頃です。林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災を言います。北海道では、4月1日から6月30日までを「林野火災危険期間」とし、危険期間のうち4月21日から5月31日までを「林野火災予防強調期間」に設定しています。

平成30年に北海道では23件発生しています。月別に見ると、4月に18件、5月で3件発生していて、最近の10年間では、4月から7月の間に全件数の約9割にあたる林野火災が発生しています。林野火災の出火原因は、その殆どが人為的な過失によるものと考えられ、ごみ焼きによるものが60件、たばこ・マッチによるものが12件で、全体の約3割を占めています。

春に火災が多いのには更に理由があります。冬は下草が枯れ、落葉が積もって「燃えやすいもの」が林内に蓄積されるとともに春は空気が乾燥していることと、風が強いという気象条件が重なることです。

気象台では、空気が乾燥し、火災が起こりやすいと予想されるときに、乾燥注意報を発表して火の取り扱いに注意するよう呼びかけています。上川・留萌地方の発表基準は、最小湿度が30パーセント以下で実効湿度が60パーセント以下の場合です。実効湿度とは、木材の乾燥の程度を表すもので、50～60%以下になると火災の危険度が高まります。また、実効湿度が50%を下回ると、マッチ1本で木材に火がつくと言われてい

ます。

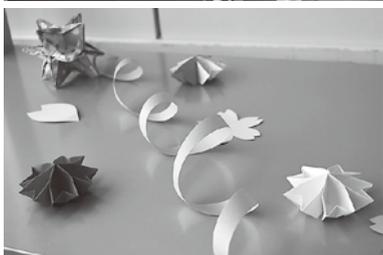
また、風の強い日も湿度が低くなりやすいので注意が必要です。森林の喪失は保水能力の低下を招き、台風や集中豪雨などの大雨により土砂崩れなどの自然災害が起こりやすくなるおそれもあります。山菜取りや散策など山に入る場合には、たき火やたばこなどの火の取り扱いには、十分注意をお願いします。また、お出掛けの際は、最新の気象情報を入手して下さい。



問い合わせ先 旭川地方気象台(電話:0166-32-7102)

旭川地方気象台ホームページアドレス

<http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>



苦前町財政事情説明書

令和元年度 苦前町の予算

令和元年5月

苦前町長 福士 敦 朗

町では年2回まちの財政事情を公表しています。今回は令和元年度予算についてお知らせいたします。

総 額 59億6,192万6千円(△ 4.22%)

一般会計 39億3,966万7千円(△ 13.88%)

特別会計 20億2,225万9千円(4.44%)

※()内は対前年度予算伸率

令和元年度当初予算について

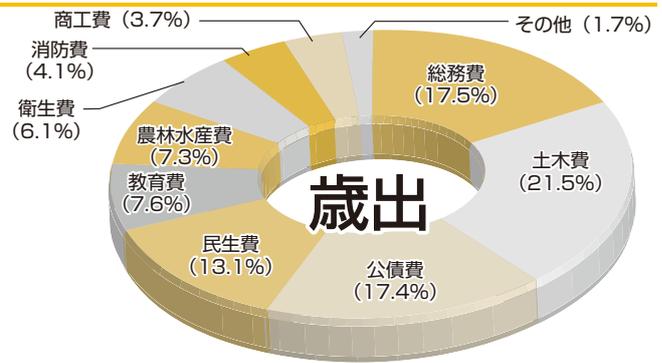
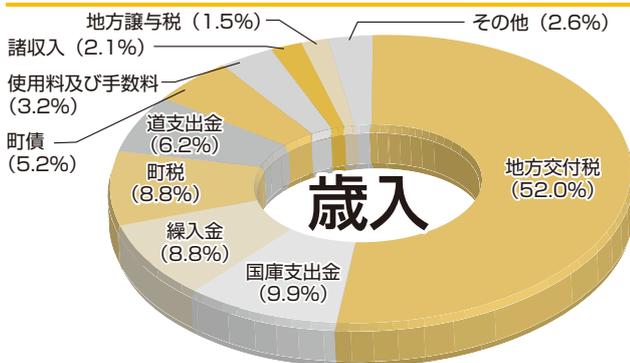
本年4月に町長・町議会議員選挙が予定されていたことから、予算の政策的な部分については、選挙後に決定されることとなっていたため、当初予算は、町政執行の基本となる経費、いわゆる「骨格予算」として編成することとして人件費等の義務的経費のほか、各事業の実施期間等を勘案し、行政の中断を避けるために必要なものについて計上したところであります。

一 般 会 計

令和元年度における一般会計予算額は、前年度予算額と比較して6億3,492万円の減となっています。主な理由としては、苦前三丁目線歩道整備事業の減少や古丹別保育所改築事業の終了によるものです。

歳入については、依然として地方交付税に大きく依存しており、国の施策により本町の財政状況が影響を受けることが今後も懸念されます。また、歳出については、公債費(町の借金)負担が学校改築や穀類乾燥調製施設整備等の大型事業により増加となり、歳出総額の2割弱を占めています。

このことから、持続可能な財政運営の更なる実現のため予算財源を配分する『枠配分方式』により予算編成を行い、「人が輝き躍動するまち苦前町」の実現のため必要最小限の経費で最大の効果が発揮できるよう創意工夫したところであります。



| 区 分 | 金 額 |
|----------|------------|
| 地方交付税 | 20億5,000万円 |
| 国庫支出金 | 3億8,834万円 |
| 繰入金 | 3億4,679万円 |
| 町税 | 3億3,609万円 |
| 道支出金 | 2億4,271万円 |
| 町債(借入金) | 2億 320万円 |
| 使用料及び手数料 | 1億2,565万円 |
| 諸収入 | 8,457万円 |
| 地方譲与税 | 5,900万円 |
| その他 | 1億332万円 |
| 計 | 39億3,967万円 |

| 区 分 | 金 額 |
|--------|------------|
| 総務費 | 6億9,070万円 |
| 土木費 | 8億4,498万円 |
| 公債費 | 6億8,538万円 |
| 民生費 | 5億1,527万円 |
| 教育費 | 3億 115万円 |
| 農林水産業費 | 2億8,892万円 |
| 衛生費 | 2億3,994万円 |
| 消防費 | 1億6,269万円 |
| 商工費 | 1億4,715万円 |
| その他 | 6,349万円 |
| 計 | 39億3,967万円 |

特別会計

| 区分 | 令和元年度予算額 | 前年度伸率 |
|-------------|-----------|---------|
| 国民健康保険特別会計 | 4億2,035万円 | △20.02% |
| 介護保険特別会計 | 4億3,709万円 | △0.72% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 6,257万円 | 4.42% |
| 簡易水道事業特別会計 | 1億 499万円 | △36.47% |
| 下水道事業特別会計 | 1億8,764万円 | △9.68% |
| 風力発電事業特別会計 | 8億 963万円 | 328.40% |

用語解説

●地方交付税

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税におのおのの一定割合を乗じて得た総額を全国の市町村が等しく合理的、かつ妥当な水準で行政事務が遂行できるよう国が配分する交付金をいいます。

●一般会計・特別会計

皆さんの税金や国・道からの補助金・交付金、手数料、保育料または借入金である町債などが歳入。これらの収入を使って皆さんの生活や福祉に関する仕事をするための経費が歳出であります。町にどれだけのお金が入り、どのように使うのかを示した基本的な会計を一般会計といえます。

また、国民健康保険税や水道料金などの収入でその費用をまかない、特定の事業を行うものを、特別会計として別に会計することができます。

本町では、国民健康保険や簡易水道事業など6つの特別会計があります。

令和元年度 主要事業概要

| | |
|------------------------------------|----------------|
| ◆結婚祝金事業交付金 | 260万0,000円 |
| ◆にこにこタクシー運行事業 | 1,957万6,000円 |
| ◆苫前町まちづくり活動支援補助金 | 160万0,000円 |
| ◆出産祝金事業交付金 | 635万0,000円 |
| ◆乳幼児医療費助成事業 | 1,143万7,000円 |
| 0歳から高校生まで全額助成（所得制限なし） | |
| ◆苫前町地域医療確保事業 | 900万0,000円 |
| ◆ごみ収集業務委託 | 3,858万6,000円 |
| ◆羽幌町外2町村衛生施設組合負担金 | 7,672万9,000円 |
| ◆中山間地域等直接支払交付金 | 6,029万1,000円 |
| 条件不利地などにおける農業生産の維持・多面的機能の確保に対する交付金 | |
| ◆苫前地区国営かんがい施設管理事業 | 3,517万3,000円 |
| 苫前ダム及び関連施設管理業務委託料 | |
| ◆苫前町プレミアム地域振興券発行事業補助金 | 786万0,000円 |
| ◆北海道風車まつり実行委員会補助金 | 360万0,000円 |
| ◆苫前町住環境整備事業補助金 | 900万0,000円 |
| 住宅新築、住宅改修、住宅等解体除去に対する助成 | |
| ◆旭長島線歩道整備工事 | 1億2,370万0,000円 |
| ◆橋りょう長寿命化事業 | 1億3,291万2,000円 |
| ◆町営住宅改善事業 | 1億7,055万3,000円 |
| 西団地1棟6戸、北星団地1棟4戸 他 | |
| ◆苫前商業高等学校後援会補助金 | 441万7,000円 |
| ◆水洗便所改造等補助金 | 600万0,000円 |
| ◆下水道ストックマネジメント（計画策定）業務委託 | 1,639万0,000円 |
| ◆苫前夕陽ヶ丘風力発電所4号機建設事業 | 7億3,438万7,000円 |
| 風力発電機（2,300kW）1基 | |
| ◆苫前夕陽ヶ丘風力発電所4号機建設事業 | 3,751万3,000円 |
| 風力発電機3基、航空障害灯 他 | |